

## 青森県立中央病院に入院された患者さんご家族へ

### 【研究課題名】

陰部清拭ワイプ導入が失禁関連皮膚炎（IAD）発生に及ぼす影響  
—災害時に備えた陰部ケア方法の見直し—

### 【研究の目的】

当院では重症度・緊急度の高い治療や処置が優先されるため、予防的スキンケアの優先度は下がりやすく失禁関連皮膚炎（以下 IAD）を含むスキントラブルのリスクが高い状況にありました。IAD は、日常的なスキンケアの質に大きく左右される皮膚障害であり、予防的介入が不可欠です。撥水・保湿効果を有する陰部清拭ワイプは、洗浄・保湿・保護を同時に行えるため、業務負担の大きい臨床現場でも取り入れやすく、災害時のように水資源が限られる状況でも有用です。当院では、災害時に備えた感染対策の質維持の取り組みで陰部清拭ワイプ導入をしたので IAD 発生状況を評価し、その効果を検証します。

### 【対象となる情報の期間】

2024 年 4 月 1 日～2025 年 11 月 30 日

### 【研究方法】

2024 年 4 月 1 日～2025 年 11 月 30 日までの間に当院に入院した患者さん。褥瘡管理者に失禁関連のコンサルテーションがあった患者さんで、IAD と判断した患者さんの電子カルテに記載されている情報のうち、性別・年齢・診療科の情報を収集して行う研究です。特に患者さんや御家族の方に新たにご負担頂くことはありません。

### 【個人情報の取扱いについて】

本研究は個人を特定できる情報は匿名化した上で、国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って個人情報を厳重に保護します。学会発表や論文投稿に際しても、内容から個人が特定される事はありません。

### 【お問い合わせについて】

今回の研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。情報の利用を希望されない場合、不明な点やご心配な点がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。情報の利用を希望されないこととお申し出いただいた場合は、情報の利用はいたしません。情報の利用を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被る事はありません。

今回の研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

### 【お問い合わせ先】

青森県立中央病院 看護部  
褥瘡管理者 斉藤 朱美  
電話：017-726-8111（代表）